

農業ふれあい公園だより

No.32

2025
(令和7年)
February

【岩手県立農業ふれあい公園 農業科学博物館】 岩手県北上市飯豊3-110 TEL:0197-68-3975

農業ふれあい公園は、広さ約17畝、たくさんの樹木に囲まれた散策路のある県民の皆様の憩いの場となっています。芝生広場、ひょうたん池、グランドゴルフ場、ゲートボール場、東屋などがあり、子供たちの遠足や家族でのピクニック、昆虫採集やザリガニとり、ランニングやお散歩など、思い思いの時間を過ごせる場となっています。また、春の桜から、初夏のナツツバキ、秋の紅葉、晩秋のドングリ拾い、冬のそり遊びなど、四季折々の豊かな自然を楽しむことができます。



満開を迎えた八重桜



遊歩道の紅葉



ひょうたん池に飛来した白鳥



農業れきし館



農業かがく館



収蔵庫



カブトムシ採集



北上市大通り保育園親子遠足の皆さん



桜の丘で雪遊び

公園内には岩手の農業を知ることができる農業科学博物館が設置されています。館内には「農業れきし館」と「農業かがく館」の二つの展示室があり、「農業れきし館」には、江戸時代後期から昭和40年頃まで農業や農家生活で実際に使われた農具や民具などが展示され、暮らしや食文化、農業の歴史などが紹介されています。「農業かがく館」には、田んぼの中の世界や、野菜や果物について学べる巨大な冷蔵庫、牛の体のしくみについて、ゲームやクイズなどで楽しく学べるコーナーがあります。ロビーには、正月飾り、お雛様、鯉のぼり、七夕飾りなどが展示され、季節感が味わえます。毎年たくさんの園児や小学生、自治会等の皆様が来館され、親子遠足や校外学習、農業研修などの場としても利用されています。

企画 전시ポ ー ト

第 91 回 いわたの土性調査 ～農地の土壌改良や施肥改善に向けた土性調査のはじまり～

令和6年5月17日(金)～9月16日(月)

良好な土を作るためには、まずその土地がどのような特性をもった土壌なのかを知らなければなりません。大正5年ごろから、土壌改良に加えて農地の施肥改善の機運も高まり、その改善の効果をあげるため、各府県でそれぞれの土壌調査法で調査がはじめられていました。その後、日本全国で土壌の性質を知るため、統一した方法で土壌調査がはじまるようになりました。岩手県では、このような体系的な調査が始まったのは大正7年からで、郡単位で地質・土性調査と施肥標準調査が行われました。

企画展では、当時、どのような調査方法で土性調査を行ったのかを探るとともに、その成果である報告書や県内の土性図の展示を行うとともに、併せて、盛岡高等農林学校の研究生であった宮沢賢治らが、この調査にどのようにかかわっていたのかを紹介しました。



江刺郡土性図



簡易土壌分析セットとワグネルポット



展示コーナー

第 92 回 むかしといまの米づくり

令和6年9月21日(土)～令和7年1月19日(日)

昭和中期頃までの米づくりは、人の力や牛や馬を使った作業でした。

昭和35年頃から牛や馬は見られなくなり、耕うん機などエンジンを使った農機具へと変わってきました。また、耕うん機のほか、除草剤の使用、動力噴霧器など、様々な技術によって労力を軽減し、生産性の向上が図られてきました。

その後、乾燥機や刈り取り機が実用化され、今日では田植機、無人ヘリコプターやドローンによる薬剤散布、コンバインでの刈り取り・脱穀・わら処理など、技術が進んできています。また、カントリーエレベーターに生籾を運んで乾燥・貯蔵・販売用に調製して共同出荷もされるようになりました。

企画展では、主に昭和20～30年代の当博物館収蔵品や写真とともに、現代の写真を展示しました。



脱穀機(左)と動力となる発動機



米俵などを運んだ荷車



関連クイズコーナーを設置

「農の生け花展」「まゆ系繰り実演」「まゆ細工体験」「漆工体験」「発動機実演」

令和6年9月7日(土)に開催された農業研究センターの公開デーに合わせて、「農の生け花展」を開催したほか、さらのき工房が「まゆ系繰り実演・展示」、クラフト作家の藤原淳子さんが「まゆ細工体験」、工房汽水の佐々木春奈さんが「漆工体験」のコーナーを設置し、屋外ではおうしゅう発動機愛好会が発動機を持ち寄って実演し、多くの皆様が来館され、各種体験など楽しんでいただきました。



「農の生け花展」



「まゆ細工体験」



「まゆの系繰り実演・展示」



「おうしゅう発動機展」



「漆工材料で絵を描こう」



「花巻人形」による雑飾り展示コーナー



当博物館には、ガラスケースに納められた花巻人形展示コーナーがあります。矢巾町在住の方から寄贈された人形は江戸時代の作品とされています。

漫画家・竹良実先生の作品展示コーナー



当博物館とゆかりのある竹良実先生の『植物病理学は明日の君を願う』の単行本や色紙、小学館から提供された原画などをロビーにて展示しています。



夏休み体験学習会「オリジナルデザインのトートバックを作ろう！」

令和6年8月4日（日）に、さらのき工房の松岡冨先生を講師にお迎えし、染物顔料で好きな絵を描き、思い思いのオリジナルバッグを作成しました。

夏休み・冬休み体験学習会

冬休み体験学習会 「来年の干支のかわいい巳を作ろう！」

令和6年12月22日（日）に、クラフト作家の藤原淳子先生を講師にお迎えし、まゆを使って干支の巳を作りました。



農業科学博物館◇季節の体験イベント

◇令和6年6月~11月「押し花しおり体験」



◇令和6年11月~開催中「木の実のハンドメイド体験」

◇◇◇博物館ご利用案内◇◇◇

【休館日】毎週月曜日（ただし祝日の場合は翌日）

年末年始（12月29日~1月3日）

※当館は、臨時休館する場合があります。開館日・開館時間についてHPに記載していますので、ご確認お願い致します。

【入館料】 高校生まで無料

個人 学生 150円 / 一般 320円

障害者手帳などの交付を受けている方及び介護サービス事業などで入館される場合は、入館料が無料になります。

次回開催の企画展

岩手県農業研究センター生産基盤研究部 企画

「小麦農林10号」生誕90年

~「緑の革命」をもたらした半わい性コムギ品種の誕生と岩手県における作物品種改良の現在~

開催期間 2月下旬 ~ 5月中旬（予定）